

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年9月17日(2015.9.17)

【公開番号】特開2014-33941(P2014-33941A)

【公開日】平成26年2月24日(2014.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-010

【出願番号】特願2012-178511(P2012-178511)

【国際特許分類】

A 6 3 B 69/36 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/36 5 4 1 W

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月29日(2015.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するため、本発明の一態様の情報報知装置は、

複数の一連の運動のデータを取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された複数の一連の運動のデータに共通する区間を特定する特定手段と、

前記特定手段により特定された前記所定の区間に基づいて、前記複数の一連の運動データを比較する比較手段と、

前記比較手段による比較結果に対応する情報を報知する報知手段と、

を備えることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の一連の運動のデータを取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記複数の一連の運動のデータに共通する所定の区間を特定する特定手段と、

前記特定手段により特定された前記所定の区間に基づいて、前記複数の一連の運動データを比較する比較手段と、

前記比較手段による比較結果に対応する情報を報知する報知手段と、

を備えることを特徴とする情報報知装置。

【請求項 2】

前記特定手段は、各運動のデータ中の動作に対応する所定の区間を複数種特定し、

前記比較手段は、前記複数種の所定の区間における各区間で、前記各運動データを比較し、

前記報知手段は、各所定の区間の比較結果に対応する情報を報知することを特徴とする請求項 1 に記載の情報報知装置。

【請求項 3】

前記比較手段による比較結果に対応する複数種の情報を、各運動のデータにおける所定の区間毎に対応付けて記憶手段に記憶させる記憶制御手段と、

前記比較手段による比較結果に基づいて、前記所定の区間毎に対応する情報を前記記憶手段に記憶された複数種の情報の中から選択する選択手段と、

を更に備え、

前記報知手段は、前記選択手段により選択された情報を報知することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報報知装置。

【請求項 4】

前記複数の運動のデータにおける各運動のデータについて、前記特定手段により特定された所定の区間における所定の動作の経過時間を算出する算出手段を更に備え、

前記比較手段は、前記算出手段により算出された所定の区間の経過時間を前記所定の動作に関連する情報として前記複数の被写体同士で比較することを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の情報報知装置。

【請求項 5】

前記報知手段は、前記所定の区間における前記一連の運動のデータとともに前記比較結果に対応する情報を表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか 1 項に記載の情報報知装置。

【請求項 6】

前記比較結果に対応する情報を前記表示手段に表示させる表示モードを選択するモード選択手段を更に備え、

前記報知手段は、前記モード選択手段により選択された前記表示モードに基づき、前記比較結果に対応する情報を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 5 に記載の情報報知装置。

【請求項 7】

前記モード選択手段は、前記運動のデータの解析結果の表示処理、前記運動データにおける所定の区間における情報の表示処理、及び前記運動データにおける全ての所定の区間における情報の表示処理を実行する複数種の表示モードから前記表示モードを選択することを特徴とする請求項 6 に記載の情報報知装置。

【請求項 8】

前記報知手段は、前記複数種の所定の区間のうち、いずれかの前記所定の区間に対応する情報を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 5 から 7 の何れか 1 項に記載の情報報知装置。

【請求項 9】

前記複数種の所定の区間のうち、前記報知手段により表示された所定の区間に対応する情報から他の所定の区間に表示を切り替える指示を検出する検出手段を更に備え、

前記報知手段は、前記検出手段により指示を検出した場合、前記表示手段に表示された前記所定の区間に対応する情報を他の所定の区間に対応する情報に切り替えることを特徴とする請求項 5 から 8 の何れか 1 項に記載の情報報知装置。

【請求項 10】

前記被写体に関する一連の運動のデータは、ゴルフスイングのクラブヘッドの速度のデータであることを特徴とする請求項 1 から 9 の何れか 1 項に記載の情報報知装置。

【請求項 11】

情報報知装置における情報報知方法であって、

複数の一連の運動のデータを取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得された前記複数の一連の運動のデータに共通する区間を特定する特定ステップと、

前記特定ステップにより特定された前記所定の区間に基づいて、前記複数の一連の運動データを比較する比較ステップと、

前記比較ステップによる比較結果に対応する情報を報知する報知ステップと、
を含む情報報知方法。

【請求項 12】

コンピュータを、

複数の一連の運動のデータを取得する取得手段、

前記取得手段により取得された前記複数の一連の運動のデータに共通する区間を特定する特定手段、

前記特定手段により特定された前記所定の区間に基づいて、前記複数の一連の運動データを比較する比較手段、

前記比較手段による比較結果に対応する情報を報知する報知手段、
として機能させるためのプログラム。